

市民議会

しみんぎかい

市民議会について 場所はいずれも理容会館

二月十七日(土)午後1時30分～4時
テーマ

その1 調査研究費条例制定について

その2 交通政策パート1 敬老バスの功罪

二月二十四日(土)午後1時30分～4時
テーマ

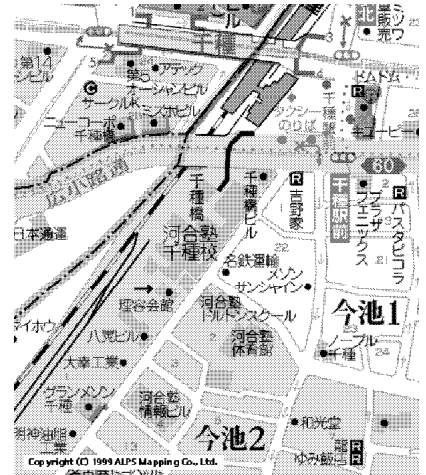
その1 ごみ焼却場計画について

その2 千種台ふれあいタウンについて

活動日誌(2000年 12月)

12月

- 1 11月議会委員会
- 2 越冬活動市民集いで話
- 3 共同連学習会
調査研究費市民の会集いで話
- 4 委員会
- 5 委員会
- 6 委員会
市政問題研究会で市の財政見通しの学習
- 7 本会議・議会閉会
- 8 名東区民議会に出席
- 9 就労援助シンポジウム
- 10 オルカ・コーキーデー行動
- 11 都市高速開通式(四谷～吹上)
- 12 マーク・パーマンさん講演会
- 16～17 障害者政策研究集会(東京)
- 18 調査研究費の件で議長に要望書提出
- 19 12月臨時議会
- 20 //
- 弁護士会精神保健研修会で講演
- 21 都市活性化特別委員会(BIE登録の件)
公職者会忘年会
- 22 2001年度予算要望提出
健康福祉委員会(高齢者医療費改正)
- 25 市民自治21会議
消防団年末警戒激励
- 28 調査研究費委託プロジェクト打合せ(大阪)
- 29 仲間たちニュース発送



今月のコラム



千種のBARAさん

一月十九日シエルプール。新潟県柏崎・刈羽原発のMOX燃料が武装護衛船に守られて運び出されました。「グリーンピース」は南アフリカ喜望峰をまわり、インド洋から南太平洋のルートが予想されると発表し、輸送ルート沿いの国々から抗議の声が相次いでいます。

日本政府は輸送の安全性に加え、地球温暖化・海面上昇による環境破壊防止の有効性、お定まりの経済的支援で抗議を封じようとしています。東海村核事故の後でどれほどの信頼が得られるのでしょうか。

一月スイス連邦科学技術研究所は、国連調査団がコソボで回収した劣化ウラン弾からウラン236が検出されたと発表しました。ウラン236は、原子炉

の中の核分裂によって作られます。このことは、劣化ウラン弾の材料として、使用済み核燃料の再処理で取り出されたウランが使用されていたことを疑わせます。(プルトニウムの混入も疑われています)

日本に輸送されるMOXなどの核燃料再処理工場であるイギリスBNFLとフランスCOGEMAは、欧州核産業のリーダー的存在であり劣化ウランピジネスにも深くかかわっています。

真相はまだ明らかではありません。しかし、私たちの国の選択が、私たちだけの問題で終わることのないということを、この問題は考えさせてくれます。私たちの選択の重要性が、ということなのです。

編集後記

また風邪をひいてしまいました。昨年末に続いて「立て続け」です。そんなわけで、前号に続いて風邪目のぼんやりまなこで作業をしています。昔はそんなに風邪をひく人ではなかったのに、とばやいてみても、現実には「少し無理をするとすぐダウンをする」ので、まあ世間で言われる年相応の体なのでしょう。名古屋での運動や

集会参加者の「高齢化」が言われて久しいのですが、事態は今も変わっていないようです。「跡継ぎが育たない」と跡継ぎのせいにするのではなく「跡継ぎを育てられなかった」運動世代の自己責任が問われているような気がします。もうこれからは「エーッ! またあの人が」というような選択は避けたいですね。でも風邪ごときで大仰な(す)